

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

| | |
|---------|---|
| 実習企業・機関 | 株式会社コミュニティ新聞社 |
| 実習期間 | 平成 31 年 2 月 18 日 ~ 平成 31 年 2 月 22 日 |
| 学生氏名 | 梶原沙耶 |
| 実習プログラム | <p>2月18日（月）</p> <p>8：50 朝礼</p> <p>9：00 会社についての説明</p> <p>10：30 事務作業（三つ折り作業）</p> <p>12：00 昼休み</p> <p>13：00 営業についての説明</p> <p>16：30 広告下書き作成</p> <p>17：30 日誌記入</p> <p>2月19日（火）</p> <p>8：50 朝礼</p> <p>9：00 庄内小僧についての説明</p> <p>10：12 写真の撮り方について説明、実際に体験</p> <p>12：00 昼休み</p> <p>13：00 チラシ作業</p> <p>17：00 総務部についての説明</p> <p>17：30 日誌記入</p> <p>2月21日（木）</p> <p>8：50 朝礼</p> <p>9：00 新聞配達</p> <p>9：45 新聞を袋に詰める、ラベル貼り</p> <p>11：00 書類日付整理（受領書、返品書など）</p> <p>12：00 昼休み</p> <p>13：00 取材同行</p> <p>15：15 取材同行2回目</p> <p>17：30 日誌記入</p> <p>2月22日（金）</p> <p>8：50 朝礼</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>9:00 広告の下書き作成</p> <p>9:30 広告作成</p> <p>12:00 昼休み</p> <p>13:00 原稿・レイアウト作成</p> <p>15:30 納品</p> <p>17:00 原稿・レイアウト確認</p> <p>17:30 日誌記入</p> |
| <p>学び・気づき (300字程度)</p> | <p>私は、4日間という短い実習期間でコミュニティ新聞や庄内小僧を作成する際、人と人とのつながりが大切になってくることが分かった。実習に行く前の私は、インターネットやニュースから得た情報をより詳しく調べて、調べた内容を新聞や情報誌に載せていると考えていた。しかし、実際は多くの人々とコミュニケーションをとることで得る情報が多いということが分かった。営業部の方曰く、取材交渉をする中で断られることは何度もあるが、諦めず交渉することで少しずつ相手側とコミュニケーションをとることができ、信頼関係を生むことができるとおっしゃっていた。信頼関係が生まれて初めて情報を共有することができ、相手側と徐々に仲良くなれるので、そのような点が営業の楽しさということが分かった。</p> |
| <p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p> | <p>私は、今回の実習でコミュニケーション能力をより向上させたいと感じ、分からない点があったら、積極的に質問することを心がけた。最初は、質問することに抵抗があったが、実際質問をすると社員の方々は笑顔で分かりやすく教えてくださったので嬉しく感じた。このような点がきっかけで、質問も積極的にすることができ、より多くの社員の方々とコミュニケーションをとることができたので、充実した実習を行うことができた。</p> <p>この経験から、今後ささいな疑問でも積極的に質問し、コミュニケーション能力をより向上させていきたいと考える。</p> |
| <p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p> | <p>私は、インターンシップをして社員の方々は仕事の大変さより楽しさを感じながら仕事に取り組んでいることに気づいた。株式会社コミュニティ新聞社で働いている方々は、酒田の良さを嬉しそうに話してくださった。このような点から、酒田のことがとても好きで酒田の魅力をだれよりも理解していると感じた。</p> <p>今回のインターンシップで、地元の酒田について初めて知った情報もあり、実習を行いながら酒田の魅力を発見することができたので、楽しく作業を行うことができた。また、コミュニティ新聞や庄内小僧の広告や原稿、レイアウト作成などを体験することができ、新聞や情報誌を作成する大変さを実際に感じることもできる点も株式会社コミュニティ新聞社の魅力だと感じた。</p> |

写真 (1~3点)



自分で作成した広告の写真

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

| | |
|---------------------------|--|
| 実習企業・機関 | 株式会社コミュニティ新聞社 |
| 実習期間 | 平成 31 年 2 月 18 日 ～ 平成 31 年 2 月 22 日 |
| 学生氏名 | 真田海翔 |
| 実習プログラム | <p>一日目（2 月 18 日） ・ 齋藤社長からの会社の説明 ・ 総務部での事務作業 ・ 営業部の仕事の説明</p> <p>二日目（2 月 19 日） ・ 庄内小僧編集部で庄内小僧の説明 ・ 総務部での事務作業</p> <p>三日目（2 月 20 日） ・ 編集部で編集会議に参加 ・ 取材に同行 ・ 新聞記事を書く作業</p> <p>四日目（2 月 21 日） ・ 新聞配達に同行 ・ 広告営業の打ち合わせに同行</p> <p>五日目（2 月 22 日） ・ 制作部で広告を実際に作る作業 ・ 庄内小僧編集部で記事のレイアウト作成</p> |
| 学び・気づき (300 字程度) | <p>一日目の社長のお話では、コミュニティ新聞社が存在する理由に何の目的のために行動するかという主体性の大切さを学ぶことが出来た。総務部での仕事内容は主に事務作業であった。素早い作業が求められたが、私はその作業を素早く行うことが出来たとは言えない結果であったため実習担当者の方から時間厳守がとても重要な作業であることを指摘された。時間厳守の面を持つ企業は、日本や世界にはない企業の方が少ないと思うため、時間を効率良く使う仕事 を意識して学生生活も送っていきたいと考えた。 営業部では広告営業に同行させていただいた。親しみをもって企業側の人々と、より良く取引ができるようになるには、様々な話のジャンルを深く掘り下げることと、信用力が重要なことと教わった。</p> |
| 今後に向けた 抱負 (200 字程度) | <p>責任感のある仕事を行うということ時間厳守をまず念頭に置くことが大事なことと学んだ。講義の課題などが遅れて提出することがあるため、学生時代においても時間厳守に取り組みたいと感じた。また営業部での実習において、広告をとってくるということは、企業側の方とまずは仲良くなることが大事なことだと学んだ。そのうえで大事なことはコミュニケーション力である。具体的には、どんな話のジャンルであっても相手の話に合わせて合わせるように話の引き出しを増やす、深く掘り下げることが大事だということを教わった。話の引き出しを増やすためには世の中のニュースを様々な媒体で見ることが大事である。</p> |

| | |
|--------------------------------------|--|
| <p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p> | <p>庄内地域の住人が知りたい情報、知っておくべき情報が週に一回無料で知ることが出来る新聞を 30 年にわたって発行していることは実習前に知っていたが、実習で実際に新聞を作る作業を身近で体験させていただいたことにより、新聞を作る労力、時間なども考えたうえで、コミュニティ新聞を無料で発行していることに実習前と比べて主観的視点から魅力がさらに上がったと感じる。</p> <p>実習では取材の仕事や、広告営業の仕事などで庄内地域の様々な人々と出会う機会が多くあった。様々な人々と関わること、酒田市はじめ、庄内地域のために働くという社会貢献につながる仕事を行っていることにとっても魅力を感じた。</p> |
| <p>写真 (1~3点)</p> |  |